工事写真管理システム『フォトマネージャ１２』

東・中・西日本高速道路(株)〈ＮＥＸＣＯ〉の要領・基準案に対応

　ソフトウェア開発の株式会社ワイズ（本社：長野市　代表取締役社長　福澤直樹）は、１１月２４日、東・中・西日本高速道路(株)〈ＮＥＸＣＯ〉の最新の要領・基準案に対応して工事写真管理システム『フォトマネージャ１２』をアップデートした。

　今回のアップデートでは８月２日に、ｉ‐Ｃｏｎｓｔｒｕｃｔｉｏｎ（アイ‐コンストラクション）の運用に併せて改定された、平成２８年３月の電子納品要領・基準への対応に加え、今回、東・中・西日本高速道路(株)〈ＮＥＸＣＯ〉が平成２８年７月に改定した、工事記録写真等撮影要領に完全対応を行った。

　同システムは、デジタルカメラで撮影した工事写真をすばやく分類・整理でき、電子納品やアルバム（写真帳）印刷を行うことも可能。また、写真表示の際の拡大・縮小機能や、アルバムと表示設定を１画面に表示することで、作成時間の短縮と操作の簡略化につなげている。

　価格は９，８００円から。同時購入ライセンス数やバージョンアップライセンス購入などによって割引になるほか、「Quick　Project」シリーズの『出来形マネージャ』や『キャルスマネージャー』との同時購入でも割引となる。購入は（株）ワイズのホームページ又はＦＡＸにて。

　本件に対する問い合わせは、（株）ワイズ（０２６―２６６―０７１０）担当・西澤まで。

右記、記事例は(株)ワイズのホームページからダウンロードしてご利用いただけます。

株式会社ワイズ　http://www.wise.co.jp/pressrelease/press20161213.htm

本件担当：西澤（にしざわ）:info@wise.co.jp